



2015.9.27 教会美化後のBBQ

家族交流の重要性

助任司祭 楊成源神父

カトリック新聞の第4303号と第4304号の中では教皇様の家庭についての文章が掲載されて、家庭の重要性が指摘されています。つまり、家庭はどんな国でも重要性があります。家庭は社会の支柱であり、人類の唯一の基本的な組織であり、社会の維持と存続を目的とするものでもあります。家庭が社会や教会に捧げるものは、ほかの組織ができないことです。現在の家庭生活に大きな変化がありました。大きな家族から核家族に変わって、三世代、あるいは四世代と一緒に暮らす時代がだんだん終わり、二世代しか暮らさない家庭が増えていきます。現代社会は忙しいので、家族の間の交流が少なくなっています。家族の中でもメールを通して交流する人も多くなり、食卓の上で食事より携帯のほうを大事にしている時もあります。家族の間の交流は子供にとって大切なことだと思います。子供は両親から様々なことを学びますので、両親の行いは子供の成長と発展に大きな影響を及ぼします。聖書の中で、家庭をよく営まない人はい次のように評価されています。「家に煩いをもたらす者は風を嗣業とする者。愚か者は知恵ある人の奴隷となる。」（箴言11・29）

家庭の祈りは交流の一つの方法です。それぞれの家庭にはいろいろな状況がありますが、信仰のためには必要でしょう。親子には年齢差や社会の変化を受ける度合に差があり、人生観の認識に関する共通の話題が少ないですが、祈りの中には共有するものがあるので、互いの絆が強くなる一つの方法だと思えます。また、夫婦の間に矛盾がある時、祈りを通して解決することができます。ではないでしょうか。特に、聖なるロザリオの月の10月に、家族一緒にロザリオを祈って、神のお恵みをいただいて、幸せな家庭を築くことができますように、聖母マリアにお願いしましょう。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ後、聖体礼拝)
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

ローマ・ミサ典礼書の総則」改訂記

主任司祭 B・ノヴァク神父

現行の日本語版『ミサ典礼書』の改訂作業は、終わりに近づいているようですが、「ミサの式次第」とともに改訂作業の中心であった「ローマ・ミサ典礼書の総則」の改訂日本語訳は、2014年5月28日付で教皇庁典礼秘跡省の認証を受けました。

新しい「ミサ総則」が認証されたことに伴って、現在のミサの典礼をそれに合わせる必要が生じるわけですので、日本カトリック司教協議会が新しい「『ローマ・ミサ典礼書の総則』に基づく変更箇所」という小冊子を発行して、2015年11月29日(待降節第1主日)からの実施すべき変更箇所を細かく説明しています。「今回実施するのは、ミサ全体に関連する規則と原則として司式司祭と共同司式司祭に関する変更、ならびに日本における適応が中心です(一部、助祭・他の奉仕者・会衆について言及する箇所も含まれます)。(1はじめより)

「ローマ・ミサ典礼書の総則」

改訂記の公表、また、それに基づくミサ典礼のいくつかの箇所の変更は、カトリック教会の典礼、特にミサ自体の意義を再意識する、また、それを学ぶ非常に良い機会ですので、実施する前に変更箇所を説明する場を設けたいと思います。その前に、「なんぞん月報」などを通じて、司教協議会が発行した小冊子の特に大事な箇所を紹介したいと思えます。なお、小冊子をお読みになりたい方は、中央協議会のウェブサイトをご覧ください。

(<http://www.cbj.catholic.jp/jpn/doc/cbj/20150615sosoku.pdf>)

新しいローマ・ミサ典礼書の総則」

に基づく変更箇所

2015年11月29日(待降節第1

主日)からの実施に向けて

(抜粋)

2 ミサ全体に関する留意事項

動作・姿勢

・司式者を含むすべての参加者の動作や姿勢が、ミサの祭儀



敬老会
2015年9月13日

全体の美しさや簡素さを大切に、すべての人の行動的参加を促すものとなるよう考慮します。個人的な好みや自由裁量によって決めることは望ましくありません。

・参加者一同が共通の姿勢を守ることによって、祭儀に集まったすべての人の一致がしるしとして表されます。

・日本の適応として、ミサの中では立つことと座ることを基本的な姿勢とします。立つことが定められている場合でも、健康上の理由や他の重要な理由がある場合は座ることができます。

・日本の適応として、パンとぶどう酒の聖別のとき、会衆はひざまずくのではなく立ったまま手を合わせます。そして、聖別の祈りの後、司祭・助祭とともに手を合わせて深く礼をします。

・動作や姿勢について、司牧者は折にふれて説明する機会を設けるよう心がけます。

沈黙

・沈黙には行動的参加としての側面が求められています

(『典礼憲章』30 参照)。祭儀のどの部分で沈黙するのかによって、沈黙の意味や目的が異なります。

・ミサ中のみならず、ミサが始まる前とミサの後の沈黙が、教会堂内はもちろん、教会堂に隣接する場所でも守られるよう配慮します。

オルガンや他の楽器の使用

・待降節には、主の降誕の喜びを先取りしないよう節度をもってオルガンや他の楽器をういます。

・四旬節には、四旬節第4 主日と祭日・祝日を除いて、歌を支えるためにだけにオルガンや他の楽器を使用します。ミサが始まる前とミサの後、奉納行列、聖体拝領などのとき、楽器のみによる演奏は控えます。

4 開祭

祭壇への表敬

・規範版では、司祭・助祭は祭壇に接吻して表敬しますが、日本の適応として、両手で祭壇に触れて深く礼をします。

祭壇のどの部分に触れるか、また触れるときの手の置き方は限定しません。

回心の祈り

・回心の祈りへの招きの後、一同が自らを振り返ることができるよう、短い沈黙のひとときをとりまします。

・ミサの回心の祈りにおける司祭のゆるしのことばは、ゆるしの秘跡としての効果をもたらすものではありません。



教会美化・BBQ
2015年9月27日

7 叙階の秘跡

7・1

旧約時代の司祭職とその限界

イエス・キリストのことをはじめ、イエス・キリストが集めてくださった教会や、この教会の典礼などを理解するために、旧約の時代のいろいろな人物、その行動や言葉、また、様々な出来事、イスラエルの法律や制度などを見る必要があるように、

叙階の秘跡を理解するために、旧約の司祭職を見る必要があります。すべての国民の中から神の民として選ばれたイスラエルの民は、「あなたはわたしに、僕、イスラエル／あなたによつてわたしの輝きは現れる、と。・・・わたしはあなたを国々の光とし／わたしの救いを地の果てまで、もたらす者とする。」(イザ49・1・6)と神に言われ、「祭司の王国、聖なる国民」(出19・6)とされました。

しかし、神はイスラエルの十二



部族の一つであるレビ族を選び、典礼の務めという特別な使命を与えました。このようにすべてのイスラエル人の中から選ばれた祭司たちは、「罪のため供え物やいけにえを献げるよう、人々のために神に仕える職に任命され」(ヘブ5・1)たのです。

「しかし、神のことばを告げ、いけにえと祈りとによつて神との交わりを取り戻すために定められたこの祭司職は、救いをもたらす力はなく、たえずいけにえを繰り返す必要があつて、決定的聖化をもたらすことはできなかったのです。ただキリストのいけにえだけが、決定的聖化をもたらすことができまし

7・2

真の大祭司であるキリスト

人間となられた神の子イエス・キリストにおいて神ご自身が、人間の罪によつて生じた無限の淵、しかも、人間は、いくら努

力しても、絶対に超えることのできない淵を超えてくださつて、人の真ん中に入つてくださったのです。イエス・キリストの人生、特に、キリストの十字架上の死は、神の、すべての人々への愛の奉獻(いけにえ)でありながら、ナザレのイエスという一人の人間の、神への愛の奉獻(いけにえ)で、神の愛への完全な応答でした。この二つの完全な愛の相互奉獻によつて、人類と神との和解が実現され、すべての人々に神の命と神の愛にあずかる可能性が与えられたのです。このように、神の子の受肉によつて始まった人間の贖い、つまり、愛に生きることを不可能にし、人生の目的に達すると同時に、幸せになることを不可能にしていた罪の奴隷状態からの解放は、十字架の奉獻(いけにえ)によつて実現し、真の神であり、真の人間であるイエス・キリストの昇天で完成されたわけです。

イエス・キリストが成し遂げてくださった救いとは、三位一体の神の命にあずかること、神との愛の交わりの完成によつて、

愛そのものである神と一体になることです。完全な愛による永遠の絆によつて結ばれた神と人々の共同体のことをイエスは、神の国と呼びました。この意味での救いにあずかるために、つまり、神の国に入るために、私たちは、同じ人間性を所有しながら、神と一体になつて

7・3

キリスト者の共通司祭職

神によつて選ばれたイスラエルの民は、「祭司の王国、聖なる国民」であつたように、キリストの神秘的なからだである教会は、真の「祭司の王国、聖なる国民」となり、イエス・キリストによつて選ばれ、洗礼を受けることによつてイエス・キリストと結ばれた一人ひとりのキリスト者は、キリストの唯一の司

第5回運営委員会

(信徒協、宣司評委員)

10月4日

司祭団より

祭職に参加しています。これにむこと、また、様々な奉仕の活動や使徒的な活動に参加するこえます。「大祭司であり唯一のキリストを証し、福音を宣べ伝を『父である神に仕える祭司の王国』となさいました。信者の全共同体がそれ自体として祭司的団体です。信者は祭司、預言者、王であるキリストの使命にそれぞれを召し出しに応じて参

報告・連絡事項

9月13日、敬老会について

(運営委員長、マリア会、ヨセフ会、他)

キズム1546)

キズム1547)

キリスト者は、諸秘跡にあずかり、キリストご自身の使命に参

9月27日、城東ブロックの集い

加することによって、イエスとの交わりを深めながら、洗礼の恵みから発出する信者の共通祭

9月27日、教会美化、BBQについて

司職を実現しています。そのために、特に、キリストの完全な奉献の記念であるミサに行動的

9月27日、教会美化、BBQについて

果たし、ご聖体拝領すること、また、毎日の聖書の読書によつ

9月27日、教会美化、BBQについて

と、み言葉に従って生き、自分の身分に従って、良心的に、

9月27日、教会美化、BBQについて

勤勉に労働、または、学業に励

9月27日、教会美化、BBQについて

9月20日、城東ブロック会議

ヨセフ会より、多くの方に参加していただき教会がきれいになりました。参加者は百名程でした。B B Qの方もマリア会のおにぎり等の用意をしていただきありがとうございます。

倉庫のパイプイスがうまく収納されていないので奥にパイプイス用の棚を設置します。

また、不用品を処分しました。

枝の置き場所が一部不適切なものがある。(本来司祭館の横に置くべき。)バザー前の10月11日に片づける。

その他

営繕委員会より、9月中の雨で大聖堂のトイレ側の出入り口の風除室の雨漏りを修繕しました。マリア館ホールの音響設備も不具合がありましたので予算を使い整備しました。中庭の音響はバザーなどの際ホールとは別に独立して使用できるようにになりました。

ワイヤレスマイクが1本老朽化により買い替えが必要です。3万円程で購入を諮ったところ承認されました。

マリア会の秋の遠足の募集を始めました。11月13日に刈谷教

会とデンパークと安城教会に行きます。定員は45名です。

司祭団より、ミサに関する新しい規則ができました。11月末より順次説明を行い実行します。

審議・相談事項

バザー実行委員会より
(バザー実行委員会)

実行委員会での決定事項の報告と承認必要案件の審議

今年度の献金先について
チケットの売れ行き等。

配布資料に基づき説明がされた。10月18日に会場準備への協力を募る案内を配布します。

10月24日13時から設営を開始します。ヨセフ会、青年会、中高生会、ボーイスカウトなど多数の方に協力頂きたい。今年月報にバザーの告知のポスターを掲載していただきます。

フリーマーケットの片づけの際に樹(いつき)の会への寄付もありませんのでお願いします。

バザーの収益金の使途について50%は南山教会の大規模修繕積立に、50%を「聖母の家学園」の新校舎建設に関わる寄付

の依頼に応える形で承認された。

レイアウトと出店者・プログラムについて説明がされた。

保健所・消防署・警察署への届け出は完了しています。例年どおり各署より、消火器の配置、犯罪の防止、食品衛生について注意の説明がありました。

炊飯器やホットプレートについて、ブレイカーの容量に注意すること。

ガーナの踊りについては踊り方が解らなくても全員参加して頂くようお願いいたします。

各会報告

典礼委員会

9月6日 9時30分子供ミサ、ケニアで宣教をしている佐藤新司祭が司式してくださいました。

9月13日 聖十字架を記念して9時30分のミサを挙げた

10月11日 典礼委員会定例会議

修会

9月10月の典礼委員会で話し合い、ミサに関する変更点を確認し、司教団の指示により待降節(11月29日)より導入すること

中高生保護者会

以下のように、中高生会と保護者会と合同で集いを行います。

日時：10月18日(日)ミサ後
(10時25分)

場所：マリア館2階ホール・キッチン

目的：バザーについての話し合い、バザー出品の試食会

参加対象：中高生保護者会会員、中高生(中1〜高3) (Fr. 楊, Sr. 梅村)

中高生会

10月25日 バザーでタコライス、タコス、フランクフルトをしますので、中高生はお手伝いに来てください。

11月8日 遠足。長浦教会とみかん狩り。8時集合、17時解散。

次回は11月1日

南山句会

平成二十七年九月九日



秋深し温泉郷の湯けむりに

眞喜子

百日紅水面に影を落としけり

とく子

一椀に虫の音の添ふ野点かな

公子

異次元へ切子硝子の誘ふ夜

一藤

野の百合の咲き満つ頃や朝の弥撒

義子

漆黒の闇のいづこも虫時雨

豊子

聖マリア誕生祝ふ秋夜弥撒

聖子

パラグアイの刺繡はブルー秋の空

せつ子

弔ひの朗々たる経夕涼し

美智子

毎月第二水曜日午後一時半

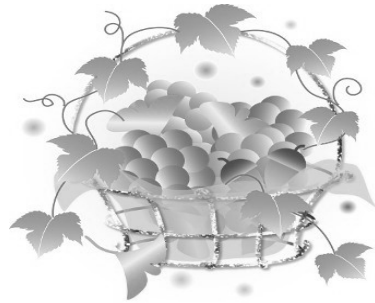
マリア館二階集会室

信者の消息

帰天

ご冥福をお祈りします

- 9/2 テレジア 藤田 綾子 (82歳)
ふじた あやこ
- 9/4 テレジア 岩山 れい子 (82歳)
いわやま れいこ
- 9/7 マリア・テレサ 相馬 みち子 (84歳)
そうま みちこ



転入

ようこそ

クララ 山科 めぐみ (藤枝教会)

教会維持費

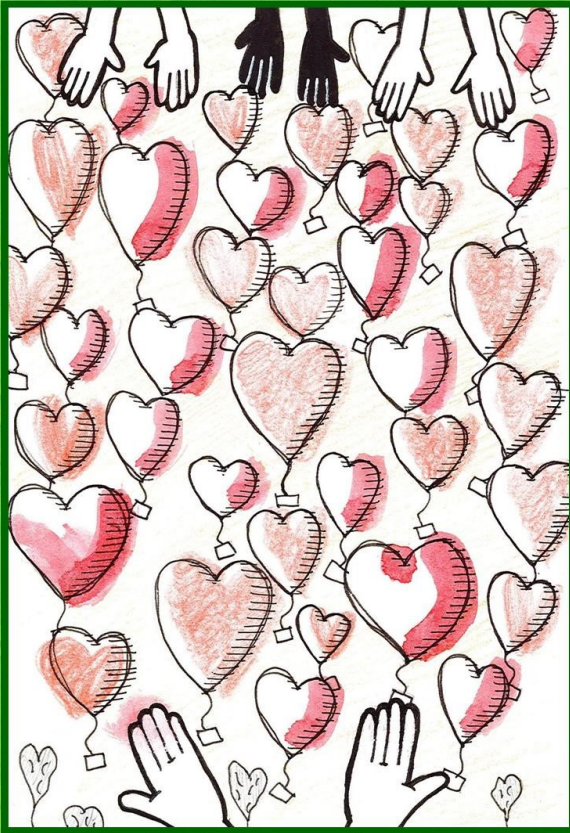
9月は954.187円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお祈りします。

2015年10月・11月行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
10月	ロザリオの月 18(日)世界宣教の日	25(日)バザー・日英合同ミサ	2(金)マリア会例会(懇談会) 4(日)11:00 運営委員会 11(日)典礼委員会 11(日)ヨセフ会班長会 17(土)10:30 子ども部屋 24(土)要約筆記付きミサ	15(木)司祭協議会 18(日)世界宣教の日(献金)
11月	死者の月 1(日)諸聖人の祭日 2(月)死者の日 9(月)ラテラン教会の献堂 22(日)王であるキリスト 29(日)待降節第一主日(C年)	1(日)予算審議開始 1(日)14:00 追悼ミサ(大聖堂) 8(日)子どものミサ(七五三) 11(水)マーティン師霊名の祝日 22(日)9:30 天使ミサ・入門式・日英合同ミサ	1(日)11:00 運営委員会 8(日)教会学校七五三 8(日)典礼委員会 8(日)ヨセフ会班長会 13(金)マリア会遠足 21(土)10:30 子ども部屋 28(土)要約筆記付きミサ	

「神から受けたその愛を
すべての人へ」



カトリック
南山教会
バザー

NANZAN
CATHOLIC CHURCH
BAZAAR

2015年10月25日(日)
AM10:45~PM1:30

詳細は、南山教会のホームページをご覧ください
<http://nanzankyokai.net>

〒466-0835 名古屋市昭和区南山町1 Tel: 052-831-9131 Fax: 052-836-2253

当日は、駐車場の準備がありません。公共交通機関をご利用下さい。
地下鉄 鶴舞線いりなか駅2番出口 南へ4分